会議顛末書

記　録　者	林　浩史

供　覧	市　長	副市長	部　長	次　長	課　長	課長補佐	主査係長	グループ員

件　名	令和８年度牛久沼活用推進協議会第１回会議
年　月　日	令和８年７月８日（水）
時　間	午後１時３０分から午後２時２０分まで
場　所	龍ケ崎多世代交流センターＲＩＮＫ
出　席　者	**周辺市町** 龍ケ崎市　市長　萩原　勇 総合政策部次長　平野　総雄 まちの魅力創造課長　石崎　清浩 まちの魅力創造課課長補佐　須原　昌英、記録者 牛久市　市長　沼田　和利 政策企画課長　淀川　欽市 取手市　政策推進課長　篠原　慎吾、課長補佐　作田　友貴 つくば市　政策イノベーション部長　小田切　美穂、企画経営課長　川原　智彦、 企画経営課主事　茂呂　碧斗 つくばみらい市　みらい創生課課長補佐　大野　隼人、みらい創生課主事　高木　純 河内町　町長　野澤　良治 企画財政課長　伊藤　英樹 **茨城県・牛久沼活用団体** 茨城県政策企画部長　木名瀬　貴久、地域振興課課長補佐　廣瀬　景子 牛久沼漁業協同組合代表理事組合長　堤　隆雄 龍ケ崎市B&G海洋クラブ　海老原　徹
	１　**開会** 事務局による開会宣言。 ２　**龍ケ崎市長あいさつ** 萩原市長よりあいさつ ３　**出席者のご紹介** 事務局より出席者を紹介。 ４　**議事** 牛久沼活用推進協議会規約、第６条第１号に基づき、萩原市長が議長となる。 ・議案第１号　令和７年度事業報告について 事務局より、「議案第１号 令和７年度事業報告について」、資料に基づき説明。 本会議及び幹事会の開催、環境保全活動について報告。 **≪質問はあがらず、異議なしの声≫** 議案第１号について、原案のとおり可決された。

・議案第２号　令和７年度歳入歳出決算について

事務局より、「議案第２号　令和７年度歳入歳出決算について」、資料に基づき説明。

歳入歳出差引１０，１２２円については、次年度繰越を行ったことを報告した。

また、河内町 野澤 町長より収支監査結果について報告を行った。

≪質問はあがらず、異議なしの声≫

議案第２号について、原案のとおり可決された。

・議案第３号　令和８年度事業計画（案）について

・議案第４号　令和８年度歳入歳出予算（案）について

事務局より、「議案第３号　令和８年度事業計画（案）」及び、「議案第４号　令和８年度歳入歳出予算（案）について」、資料に基づき事務局より一括して説明。

事業計画（案）については、引き続き、幹事会において調査研究を進めていくことに加え、グラベルコースとして活用していただいているサイクルショップ（ON THE ROAD）を確認できたことから、牛久沼周遊ルートへ落とし込めるよう検討していく。また、議案第５号でお諮りする「（仮称）牛久沼ルール＆マナー（案）の制定について」承認された場合には、広報周知を図っていく。さらに、議案第６号でお諮りする「牛久市４０周年プロジェクトの後援に伴う名義使用などについて」承認された場合には、ブース出展等の検討・協議を進めていく旨報告した。

予算（案）については、前年度繰越金、各自治体から徴収予定である負担金、預金利子を原資とした４０，２２２円で事業を行っていきたい旨を報告した。

【質問】

【小田切部長】　グラベルコースを活用しているサイクルショップは、イベントなどを行っているのか。

【事務局】　ごく小規模であったが、過去に１０名程度のイベントが開催されている。

※ON THE ROAD の HP をスクリーン投影。

≪上記以外質問や意見はあがらず、異議なしの声≫

議案第３号及び議案第４号について、原案のとおり可決された。

・議案第５号　（仮称）牛久沼ルール＆マナーの制定について

事務局より、「議案第５号　（仮称）牛久沼ルール＆マナーの制定について」、資料に基づき説明。

≪質問はあがらず、異議なしの声≫

議案第５号について、原案のとおり可決された。

・議案第６号　牛久市４０周年プロジェクトの後援に伴う名義使用などについて

事務局より、「議案第６号　牛久市４０周年プロジェクトの後援に伴う名義使用などについて」、資料に基づき説明。

本来、要綱などを定めた後に、名義を使用していくべきものだが、今回に限っては、９月のイベント開催に合わせて幹事会による要綱内容の検討・協議から本会議での承認をいただくまで十分な期間が取れないことから、特別にお諮り

	する旨説明。 今後、要綱の制定について検討していくことを説明。 出展イメージの説明。 ※スクリーンを使用し、イメージ画像を投影。 **≪質問はあがらず、異議なしの声≫** 議案第６号について、原案のとおり可決された。 ５　その他 牛久沼に関する取り組みや話題などの情報交換
【沼田市長】	牛久市４０周年プロジェクトとして、牛久沼をより身近に感じていただくために、イベントを開催する。今後のイベント等がどのように発展していくかについては、今回のイベントがカギとなってくるので、海洋クラブの海老原氏と調整をさせていただく。 また、先ほど、会長や事務局から説明がありましたが、以前、つくば市長がグラベル（マウンテンバイク）に関してお話しいただき、とても関心を持った。是非、次回の協議会ではなく、話ができる機会を設けていただきたい。
【篠原課長】	令和８年～１０年にかけて、堤防の改修と併せ、道路の拡幅工事を、龍ケ崎市や竜ケ崎工事事務所と連携をしながら行わせていただく。
【小田切部長】	今年度から、観光推進課で牛久沼の自然環境を利用した団体に対して補助金を交付するため、「つくば市牛久沼周辺エリア体験型観光支援補助金」を設定した。 また、引き続き、「おでかけジャーニー」で PR 活動を進めていく。
【海老原氏】	通年：草刈り・木の剪定、「プラスチックパトロール」として、SUP でゴミ拾いを実施。 ８月：8/22 SUP リレーマラソン（第７回）を実施。 ９月：9/19 牛久市４０周年プロジェクト １０月：10/10 プロチームで牛久沼横断レースを実施予定。
【 堤氏 】	近年、二千間堤に太陽光パネルが多数設置されたことで、湿地帯が減少しつつある。そこで、牛久沼の環境を守るために許可制の導入も検討すべきではないか。 ウナギ・フナの放流を実施。 亀の捕獲も実施。谷田川の高速道路の下付近に多く見られる。昨年度は、4000匹を捕獲した。 高齢化に伴う、組合員の減少も喫緊の課題である。
【木名瀬部長】	第３次茨城県総合計画で、今後４年間の方針を定めた。県南地区は、産業も非常に活発であり、交流人口も増加しているため、たくさんの方に来ていただいて、牛久沼等で体験をしていただくことは有効ではないかと思う。 グラベルロードも話に上がったが、霞ヶ浦でサイクリングイベントの「いばらき K1 ライド 2026」を 11 月に開催する予定で、今年で５回目となり、参加規模は１，５００人を超える。 また、山の中を走るトレイルランとして「常陸国ロングトレイル」があり、今年から、「ひたちなか・大洗ルート」も追加された。さらに、昔ながらの自転車を愛好する方が世界レベルで集まる EroicaJapan がグラベルを採用していることから、うまく結びつけられると良いと考える。

【大野課長補佐】	牛久沼に一番近い施設として、「きらくやまふれあいの丘」があり、遊びに来る理由が必要と考え、令和５年に大型遊具を設置。令和８年７月にソーセージ製造販売を開始。令和８年度中に使用頻度の低いテニスコート１面をフットサルやバスケットボール３×３ができるように改修する予定。
【萩原市長】	計画（案）にも記載している通り、防犯カメラの設置や、プロギングを実施する予定である。 東岸市有地の改修を行うために、先日、市議会への提案を行ったが、改修費用が高すぎるというご意見をいただいた。しかし、市民アンケート結果から、「牛久沼をもっと活用してほしい」などの声が多数見受けられる。参考地として、手賀沼においては、(広場や遊歩道等が)しっかり整備されていることから、東岸市有地も市民が集える場所となるように力を入れていきたい。 日本の夕陽百選に牛久沼が登録されている旨報告。 先日、(株)諸岡さんが、旧水神屋跡地で重機のイベントを開催した。アトラクションの待ち時間が１時間以上になるなど、多くの方が来場された。 グラベルロードに関しても、牛久沼沿いを走れるように、草刈り等の検討を進めている。 牛久沼活用推進協議会の予算も少額ということから、もう少し増額を検討して、動きやすくしていけるようお願いしたいと考えている。 SUP などのイベントで水に飛び込むことがあるが、子どもたちは、恐怖心があるようである。救命胴衣等を着用することで、水に飛び込む際の恐怖心を克服できるような経験が大切と考えることから、いろいろな子どもたちに体験していただきたい。
【海老原氏】	牛久市４０周年イベントでは、様々な方が当日でも参加できるよう保険に加入している。そこで、環境科学センターから水槽を借用して、魚とり体験等を実施する予定。また、６０万円ほどの助成金を受け、今回限りにはなるものの、浮き桟橋を設置する。 ぜひ、皆様にも広報周知をお願いしたいと考える。
	６　閉会 事務局による閉会宣言。 令和８年度牛久沼活用推進協議会会議を終了とした。

情報公開	公　開 一部公開 非公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ケ崎市情報公開条例第９条　号該当）
		公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	年　　月　　日